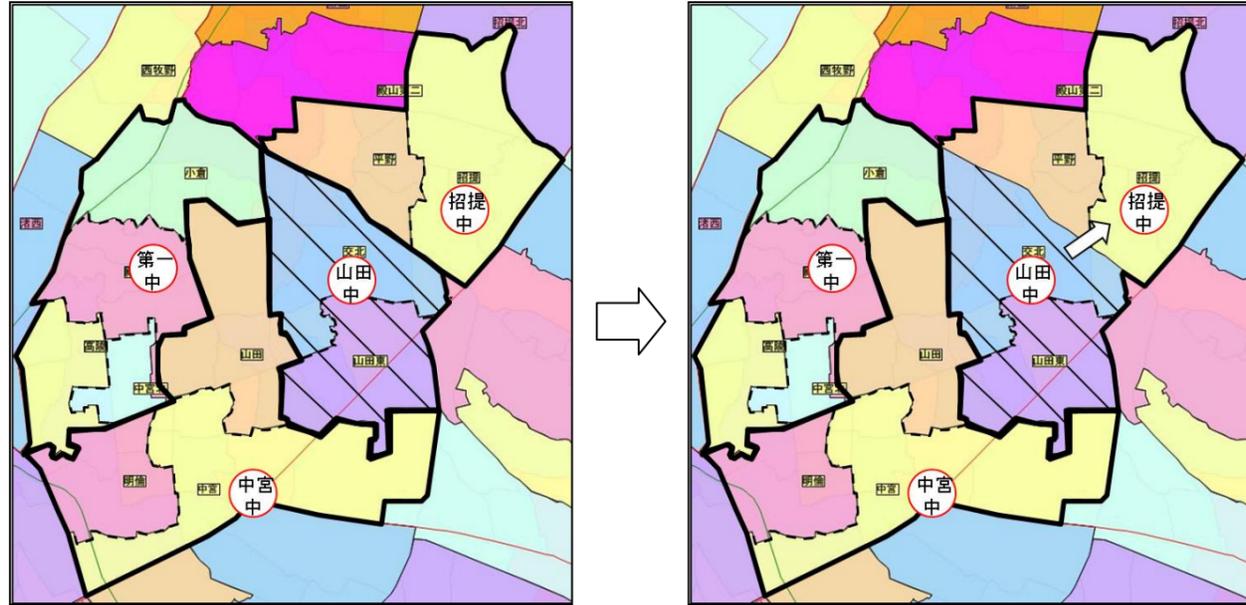


★ (方策番号) 中部-R

(7) 山田中学校

- 招提中学校と統合する
ア. 招提中学校敷地に統合校を設置する。



1. 学校規模

(1) 学級数・児童数の将来推計
(現行推計)

		H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H35	H40	H45	H50	H55
山田中	学級数 (CL)	7	8	9	10	10	10	10	9	6	6	6	6
	生徒数 (人)	186	248	323	360	361	353	365	280	224	189	177	153
招提中	学級数 (CL)	10	11	12	11	11	11	12	12	12	9	9	9
	生徒数 (人)	373	402	432	412	405	391	427	448	396	357	339	334

(統合後の推計)

		H26	H27			H30	H31	H32	H35	H40	H45	H50	H55
統合校 中学校	学級数 (CL)	支援 (2)	支援 (2)			20	20	22	20	18	15	15	15
	生徒数 (人)	(5)	(10)			766	744	792	728	620	546	516	487

(2) 住宅開発等の情報

- 山田東小学校は、校区内に一部農地が存在するものの、多くは既存の住宅地であり、新規の大規模住宅開発は見込めない、また、国道1号より南部の区域についても市街化調整区域であり、新規の住宅開発は見込めない。
- 交北小学校及び山田中学校の周辺は、市街化調整区域であり、多くの農地が存在しているが、その他の地域は既存の住宅地であり、用途地域等から新規の住宅開発は見込めない。

2. 施設規模

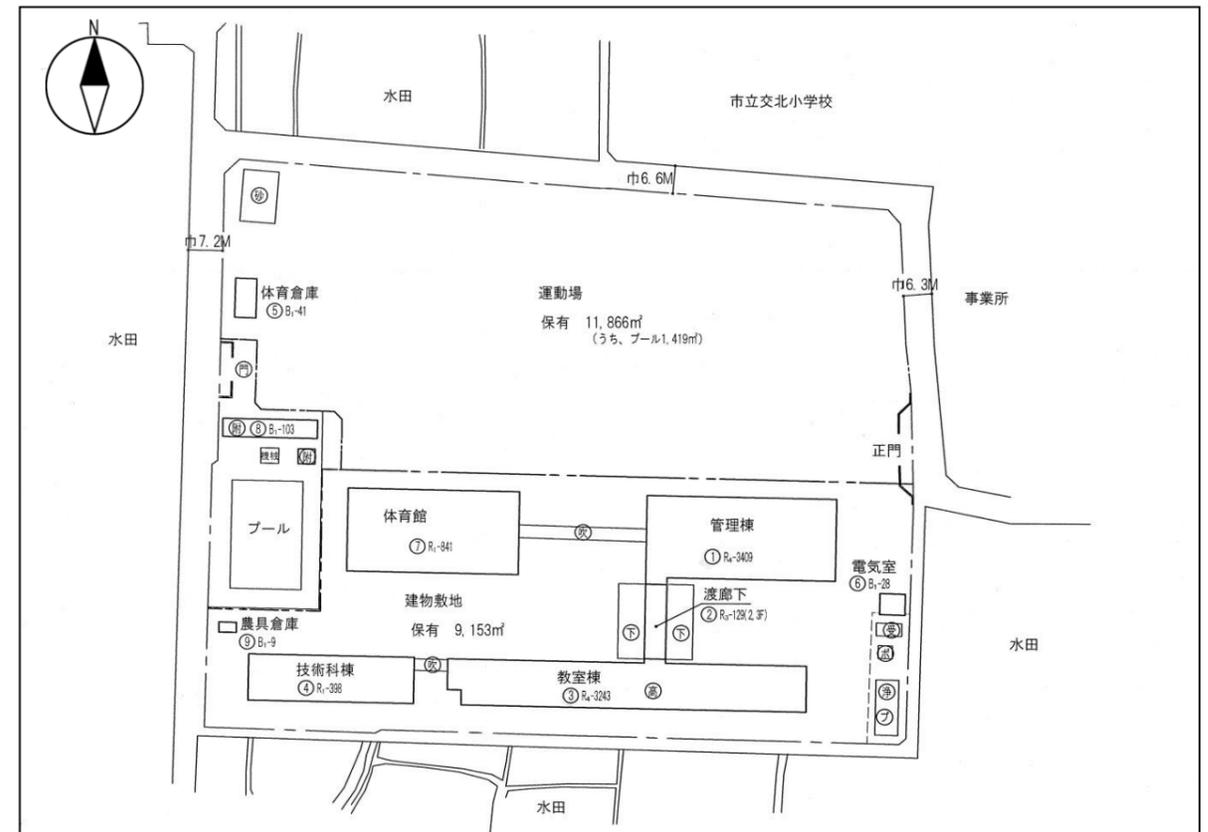
(1) 学校用地の状況

	建物敷地面積	運動場面積	その他面積	敷地面積	形状等
山田中学校	9,153 m ²	11,866 m ²	—	21,019 m ²	法敷なし。整形。
招提中学校	9,144 m ²	14,623 m ²	—	23,767 m ²	法敷あり。整形。

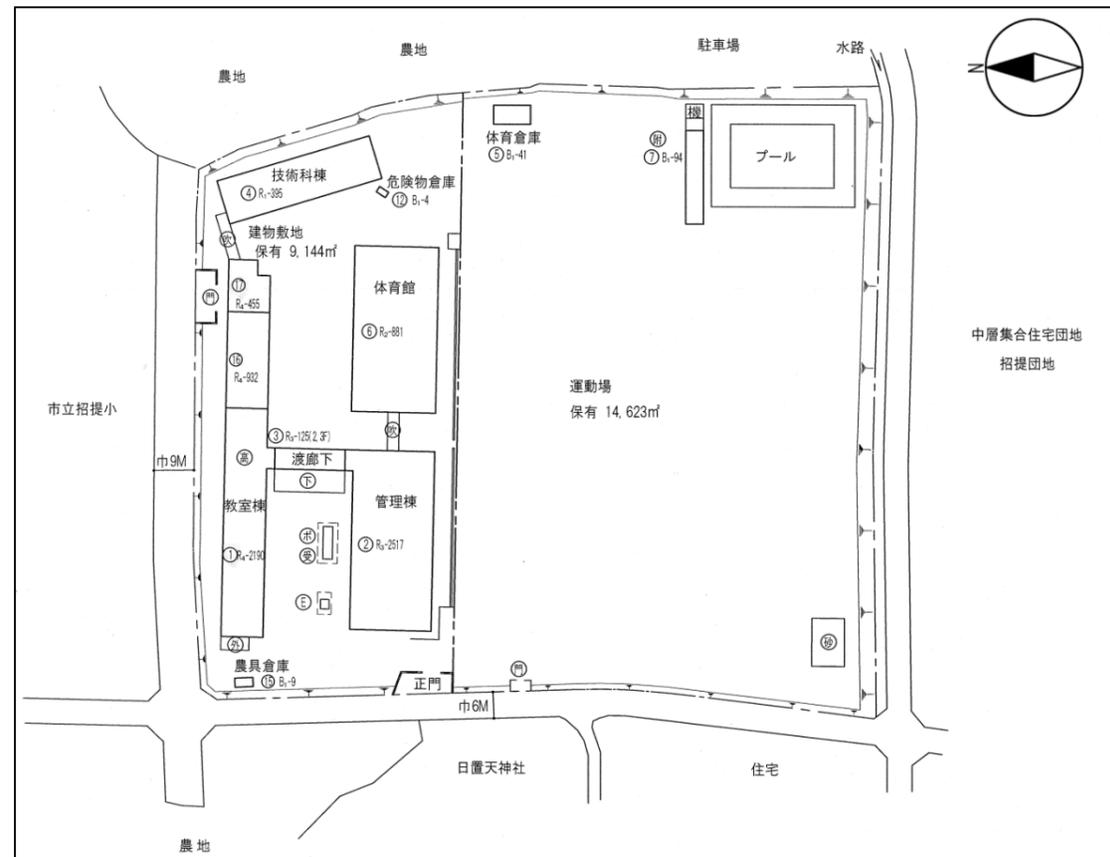
* 中学校設置基準面積 (運動場)

統合した場合の最大生徒数 (792人)	8,400 m ² (*721人以上=8,400 m ²)
---------------------	--

(山田中学校 配置図)



(招提中学校 配置図)



(2) 建物の状況

学校名	棟の種類	棟番号	構造区分	階数	建築年	保有面積	
山田中学校	校舎(保有教室数:29教室)						7,050
	管理棟	1	R	4	S58.3.1	3,409	
	教室棟	3	R	4	S58.3.1	3,243	
	技術科棟	4	R	1	S58.3.1	398	
	体育館	7	R	1	S58.3.1	841	
	その他					310	
招提中学校	校舎(保有教室数:31教室)						6,489
	教室棟	1	R	4	S48.3.1	2,190	
	管理棟	2	R	3	S48.3.1	2,517	
	技術科棟	4	R	1	S48.3.1	395	
	教室棟	16	R	4	S51.4.1	932	
	教室棟	17	R	4	S57.3.1	455	
	体育館	6	R	2	S49.3.1	881	
	その他					273	

* 中学校設置基準面積 (校舎)

統合した場合の最大生徒数 (792人)	4,488 m ² (*3,240 m ² + 4 m ² × (792人 - 480人))
---------------------	---

(3) 施設整備の予定

(山田中学校) 学校施設整備計画の第2期実施計画整備候補施設 (建築後30年以上)

(招提中学校) 学校施設整備計画の第1期実施計画整備候補施設 (建築後40年以上)

(4) 増築等の必要性

	統 合 校	
	ア 招提中学校敷地に設置	
最大時における必要教室数	31 教室 (通常学級 22CL + 支援学級 2CL + 多目的室等 7 教室)	
パーテーション対応時	29 教室 (通常学級 22CL + 支援学級 2CL + 多目的室等 5 教室)	
不足数 (パーテーション対応時)	不足なし	
増築等の方法	必要なし	

3. 通学区域

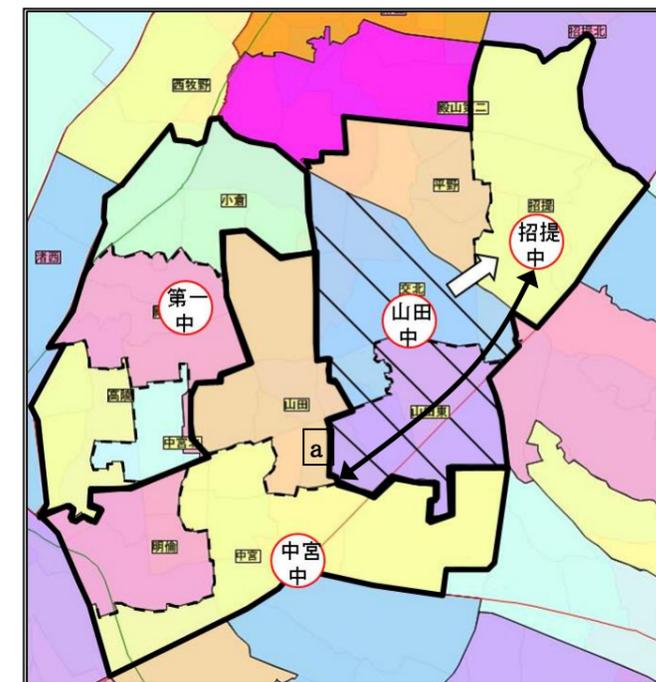
(1) 最長通学距離

(現行)

学校名	最長地域	距離
山田中学校	須山町 81 番付近	約 1.6km
招提中学校	招提東町 2 丁目 1 番付近	約 1.8km

(統合後)

統 合 校	最長地域	距離
ア 招提中学校敷地に設置	須山町 81 番付近 …… a	約 2.5km



(2) 校区の状況

	統 合 校
	ア 招提中学校敷地に設置
不自然な通学 様態の有無	<ul style="list-style-type: none"> ・現状も同様であるが、一部の生徒が交通量の多い道路（杉田口禁野線）を横断して通学しなければならない。 ・一部の橋周辺の堤防は、人通りが少ない状況がある。
地形地物による 地域分断の有無	都市計画道路 牧野穂谷線（幅員 32~39m）あり。 山田中と招提中の間には穂谷川が通っており、5本の橋が架かっているものの、地域を分断している。
校区における 学校の位置	東西方向及び南北方向の中央やや北東寄りに位置する。
通学区域の 広さ・形状	東西方向 2.2km 南北方向 3.1km で、長方形
その他	—

4. 小中連携

	統 合 校
	ア 招提中学校敷地に設置
進学元小学校	交北小学校、山田東小学校及び招提小学校、平野小学校
「一小一中の」 接続関係の確保	確保できる。
小中一貫校（一体 型）の設置可能性	なし。
通学支援策等	—

5. 地域連携

(1) 自治会等の区域

- ・学校統合後の自治会分断の有無：なし

(2) 学校の沿革等

	山田中学校	招提中学校
設置年月	・昭和 58 年 招提中、中宮中から分離 開校	・昭和 48 年 第一中、第三中から分離 開校
沿革等		<ul style="list-style-type: none"> ・昭和 58 年 山田中に一部分離 ・昭和 60 年 招提北中に一部分離 ・昭和 61 年 長尾西中に一部分離